

皆さま、こんにちは。

3学期が始まり、慌ただしく日々を過ごしていると、気付けば2月も半ばになってきました。

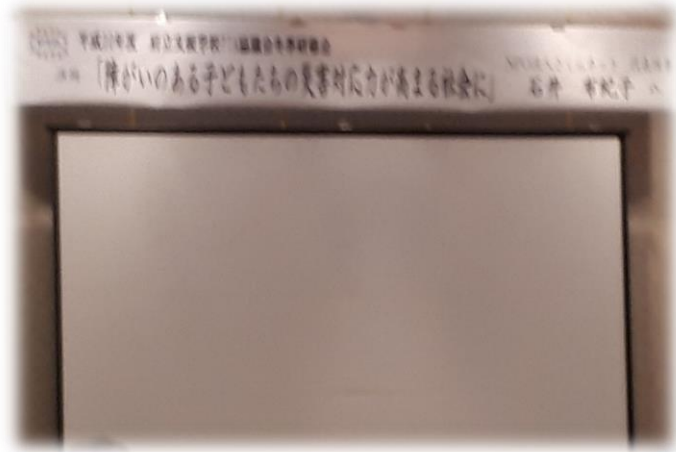
先日は、3学期の大きな行事である作品展も無事に終え、3年生はもう卒業間近となってきました。

四條畷校で過ごす日々、思い出残るものとなりますように。

さて、寒い毎日ですが、PTAでも、3学期も子どもたちに負けず、行事を行ってまいりましたので、ご報告させていただきます。

平成31年1月17日、アウィーナ大阪にて、「大阪府立支援学校PTA協議会 冬季研修会」が行われました。

この度の研修会では、NPO 法人 さくらネット代表理事（あたりまえ防災推進会議事務局） 石井 布紀子さまによる『障がいのある子どもたちの災害対応力が高まる社会に～当たり前の防災に学ぶ～』という演題で、講演が行われました。



石井さまが活動されている中で、「ぼうさい甲子園」という活動があり、この活動は阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向かって継承していくため、学校や地域で防災学習や防災活動に取り組んでいる子どもや学生を顕彰する事業として行われており、現在は、①小学生、②中学生、③高校生、④大学生と部門も分れているようです。近年では、支援学校からのエントリーも多く、来年度からは、支援学校部門も置かれるお話を聴かせていただきました。

今講演会により、改めて、防災について学ぶ良い機会となりました。

続いては、1月24日(木)、大阪市中央公会堂にて行われました。『第66回大阪府学校保健研究大会』についてご報告させていただきます。

研究発表と講演で構成された今大会、箕面市のイメージキャラクター滝の道ゆするをつかった箕面市立の保健委員会の活動や、豊中市立中学の「飲酒・喫煙・薬物乱用防止について」の報告 また、とりかい高等支援学校 生徒保健委員会の生徒さんが登壇し「ハミガキ 100%大作戦」のとりくみが研究発表として紹介されました。



講演会では、「子どもたちの安全な性を育てるために～SACH IKO の取り組みからみえること～」と題して、阪南中央病院産婦人科医であり、性暴力救援センター・大阪 SACH IKO 代表の、加藤治子さんのお話を聴きました。

性暴力センター・大阪 SACH IKO は、性被害にあったとき、まず必要なのは寄り添ってくれる人の存在と、心のサポートと医療支援であり、次に警察による捜査や法律家による法的支援との考えで、24 時間体制でホットラインがつながり、一か所で総合的に支援を受けることができる体制を備えています。

今回重いテーマの講演ではありましたが、性に対して子どもたちがさらされている現実を思うとき、一人一人が、我が子も周りの子どもたちも守っていく存在にならなければと改めて深く感じる機会となりました。

2月3日に行われました四條畷校での作品展にて、今年もPTAでは、「バザー」「喫茶」「PTA 作品展示」を同時開催致しました。

当日は、開店する前からお客様が並んでくださるなど、どの会場も大盛況となりました。



バザー会場



PTA 作品展示



喫茶会場



多くの方にご利用いただき、当日は、沢山の収益を得ることが出来ました。
また、全体の収益については、全て本校生徒へ還元させていただきます。
皆さま、ありがとうございました。